

8-2-2 業界展望を考える若手技術者の会

1. 委員会の開催

委員会開催回数：7回開催

若手の会は、全国各支部から20～30代のメンバーを集め活動を展開している（現在28名）。若手の会は、月1回程度の会合とあわせて、他組織や他支部の若手組織との連携を図っている。

2. 実績報告

(1) 30年後の将来ビジョンの策定

若手の会の目的の一つである、将来ビジョンの策定について、30年後（定年を迎える年代）を設定し市場WG、イメージWG、働き方WGの3つのワーキンググループを立ち上げ検討を進めており、10月末の近畿支部の交流会で、中間報告を行った。

将来ビジョンの戦略としては、大きく「Change Market（市場変革）」、「Change Working（働き方変革）」、「Change Image（イメージ変革）」、「Share（共有）」の4つを設定している。

(2) 支部若手組織との交流会開催

若手の会では、各支部若手組織との交流会として、これまでに北陸支部（平成27年8月28日）、関東支部（平成27年12月11日）、九州支部（平成28年5月27日）、近畿支部（平成28年10月28日）と4回実施してきている（今年度2回）。また、交流会では本会メンバーのほか、各支部若手組織代表、その他公募の若手技術者などが参加しており、延べ参加者数は231人（北陸54人、関東30人、九州59人、近畿88人）となっている（今年度147人）。

(3) 土木学会若手技術者との交流

外部機関との連携として、土木学会将来ビジョン特別小委員会との意見交換会を開催した（平成28年6月24日）。なお、同委員会ではすでに産官学からなる若手委員による将来ビジョンを策定しており、我々が参考にすべき考え方も多く盛り込まれている。さらに、その成果を書籍「未来は土木がつくる。これが僕らの土木スタイル！（土木学会出版）」にまとめている。その経緯や思いを発表してもらい、意見交換を行った。

(4) 外部講師を招いての勉強会の開催

本部若手の会における将来ビジョンの戦略の一つである「働き方変革」に関する勉強会を開催した。外部講師としては、ワークライフバランスの先端企業である、味の素株式会社の村上氏に講演を依頼し、同社の働き方変革の具体的な取り組みを紹介してもらった後、将来ビジョンの内容充実のためにメンバーとの意見交換を行った（平成28年12月2日）。

(5) 『魂のメルマガ』配信

本部若手の会の活動は、Facebook ページ「建コン4.01（ケンコン・フォース）」で紹介してきたが、これに加えメルマガジンを配信することとした。『魂のメルマガ』は、平成29年1月23日に第1弾を配信し、月2回のペースで、現在（H29.3時点）で5回配信している。本メルマガは、本部若手の会、全国各支部若手組織の各委員が持ち回りで業界活性化への熱い想いを語るコーナーと、各組織の活動紹介のコーナーを中心に構成している。当面は、本部若手の会及び各支部若手組織の委員向けに限定配信する予定だが、掲載内容の充実及び配信希望者の応募方法の検討を進めながら、徐々に配信対象者を拡大したいと考えている。その一環として、メルマガの閲覧者数のカウントや感想、意見などを把握するためのWebアンケート調査の実施を5月に予定しているところである。

(6) メディア掲載実績

本部若手の会の活動目的は、業界活性の一大ムーブメントを起こすことにあり、我々の活動をより広く周知することが必要と考えている。そのため、毎回のイベントごとに建設関連紙に対してニュースリリースとして投げ込みをしている。その結果として、今年1年間において新聞に20回掲載された。

3. その他報告事項

特になし。

4. 次年度の活動について

(1) 上記内容を継続的に実施する。

（業界展望を考える若手技術者の会委員長
伊藤 昌明）